

秋田県 川連漆器

秋田県湯沢市の伝統的工芸品である川連漆器。地塗りと中塗りを何度も繰り返して花塗りで仕上げます。花塗りは自然のままの線と光沢を活かせるため、豊かな曲線とふっくらした質感が生まれます。川連漆器は長く愛用できる漆器として親しまれ、実用性と堅牢が最大の特徴です。



佐藤 公
川連漆器伝統工芸士 塗り部門
川連漆器伝統工芸士会会長

石川県 輪島塗

国の重要無形文化財であり、漆器産地のなかの重要無形文化財である輪島塗。独自の工法によって作られる輪島塗は完成までに少なくとも120工程もの手数を要します。職人が手作業で行う輪島塗は堅牢で華麗な商品です。



津田 哲司
輪島塗伝統工芸士 塗り部門
輪島塗元伝統工芸士会会長

秋田県 大館曲げわっぱ

秋田県大館市一帯で作られている大館曲げわっぱ。国内はもちろんだが、海外でも知られている日本を代表する伝統的工芸品です。特徴は天然の秋田杉の美しい木肌と木目、ライフスタイルをもつ幅広い世代に愛されています。



栗盛 俊二
大館曲げわっぱ伝統工芸士
大館曲げわっぱ伝統工芸士会会長
現代の名工

大阪府 大阪浪華錫器

江戸時代後期に一般的に広まった錫器は、それまでは宮中で主に使用されてきました。昔からあるものから現代のニーズにあわせた商品まで、ジャンルも様々。『錫は落としても割れない』『一生もの』であり、金属食器ではありますが、手になじみ器です。



今井 達昌
大阪浪華錫器伝統工芸士
大阪浪華錫器伝統工芸士会会長
現代の名工

愛知県 尾張仏具

尾張仏具は愛知県名古屋市区と尾張地区で製造されています。木製漆造製品が中心で、細分化された多種多様な技術で様々な仏具等の製造に対応できるのが特徴です。特に木魚と丸金台は日本全国でも尾張地区でしか生産されていない特別なものとなっています。



野依 克彦
尾張仏具伝統工芸士 金具部門

山梨県 甲州印伝

山梨県甲府市で作られている革製品の甲州印伝。鹿の革を用いて漆で模様を付ける技法で袍や財布、小物入れ等様々な製品が作られています。長く使い込むほど手になじみ、愛着が増し、深みのある落ち着いた光沢になっていきます。



山本 裕輔
甲州印伝伝統工芸士
甲州印伝伝統工芸士会会長

福井県 越前焼

越前焼は福井県丹生郡越前町で作られています。日本六古窯の一つで、特徴としては釉薬を使用せずに焼成することです。絵付けをされないことが多く、茶褐色でよく焼き締まった越前焼は、水も通さず丈夫なため、酒器や茶器等の日用品の製品を中心に製作されています。



宗倉 克幸
越前焼伝統工芸士
越前焼元伝統工芸士会会長

大阪府 堺打刃物

600年の伝統が現在も受け継がれている堺打刃物。堺打刃物の特徴はその工程の専門鍛冶(研ぎ、柄付け)の職人が分業して製造すること、全国の料理人の9割が「包丁は堺」と言われるほど圧倒的な支持を得ている逸品なのです。



森本 光一
堺打刃物伝統工芸士
堺打刃物元伝統工芸士会会長
現代の名工

福岡県 久留米絨

福岡県久留米市を中心に周辺地域で製造されている久留米絨。福後絨・伊予絨と並び、三大絨の一つと呼ばれる久留米絨は、複雑で繊細な柄と素朴な藍色が着る人の心を魅了します。また、裾らしのなかに溶け込んでいる久留米絨は、多くの人に親しまれています。



池田 大悟
久留米かすり 池田絨工房 代表

佐賀県 伊万里・有田焼

伊万里・有田焼の伝統工芸士の資格取得部門が三部門あるなかで、全部門の資格取得したのは市川氏ただ一人。鍋島焼の第一人者として周囲からも期待されています。一つの作品を職人成形から絵付けまで自身一人で制作する作品は逸品なのです。



市川 浩二
伊万里・有田焼伝統工芸士 加飾部門
・成形部門
伊万里・有田焼前伝統工芸士会会長
現代の名工

山口県 赤間硯

山口県下関市や宇部市周辺で作られている赤間硯。赤間石という硯に適した石が原材料で、発色も伸びもよい墨がでけると評されています。赤間石の特徴は緻密な石質に加え、石英や鉄分を多く含んでいることです。実用的でありながら美術的な価値も高い硯です。



下井 昭弘
赤間硯伝統工芸士

奈良県 奈良筆

奈良県奈良市大和郡山辺町で製造されている奈良筆。日本の筆造りの初めは奈良筆と言われています。十数種類の動物の毛を原料として、弾力や長さなど異なる毛質を組み合わせた「練り混ぜ」という伝統的な技法で1本1本を作り上げています。



鈴木 一朗
奈良筆伝統工芸士
奈良筆元伝統工芸士会会長
叙勲受賞

大阪府 大阪泉州桐箆筒

「桐箆筒の最高峰」と言われている大阪泉州桐箆筒。厳選された良質の桐材を使用した大阪泉州桐箆筒は使用する桐材が厚く、組み手数の多さ、つまり、仕上げが丁寧なことを特徴としています。代々受け継がれてきた技術・技法で、丹精込めて作られています。



田中 美志樹
大阪泉州桐箆筒伝統工芸士 塗装部門
大阪泉州桐箆筒伝統工芸士会会長

京都府 西陣織

西陣織は多品種少量が特徴の京都(西陣)で生産される先染の紋織物の総称です。京都市街の西部で作られており、応仁の乱を機に西陣織の名称がつけられました。西陣織には紗(しゃ)や羅(ら)といった透かし生地や二重構造の風通といった多彩な織りが発達していたことが特徴です。



渡邊 隆夫
渡文株式会社 代表取締役社長

富山県 井波彫刻

富山県南砺市で制作されている井波彫刻。立体的で躍動感のある高度な技術が特徴です。2000年以上のノミや彫刻刀を駆使して彫られていた深彫りという独自の技法で完成させた作品は躍動感があふれています。近年では新たな可能性に挑戦し続ける伝統的工芸品として知られています。



酒井 秀哲
井波彫刻伝統工芸士

青森県 津軽塗

青森県の弘前を中心に製造されている津軽塗は重要無形文化財です。津軽塗という言葉は明治6年のウイーン万国博覧会に展示する際に命名されました。津軽塗には「唐塗」「なご塗」「錦塗」「紋紗塗」という塗りの技法があり、優美な塗りが特徴で、青森県を代表する伝統工芸品です。



坂本 彰彦
津軽塗伝統工芸士 塗り部門
津軽塗伝統工芸士会会長

徳島県 大谷焼

大谷焼は徳島県鳴門市大町の名産品です。大谷焼の特徴は素朴な風合いを醸し出す土と「寝ろくろ」という技法です。「寝ろくろ」とは大型商品を作る際に職人が作業台の下に寝転んでろくろを足で蹴って回す技法です。また、陶器を焼き上げる登り窯の大きさは日本一と言われています。



森 崇史
大谷焼窯元 森陶器 5代目

富山県 井波彫刻

富山県南砺市で制作されている井波彫刻。立体的で躍動感のある高度な技術が特徴です。2000年以上のノミや彫刻刀を駆使して彫られていた深彫りという独自の技法で完成させた作品は躍動感があふれています。近年では新たな可能性に挑戦し続ける伝統的工芸品として知られています。



酒井 秀哲
井波彫刻伝統工芸士

青森県 津軽塗

青森県の弘前を中心に製造されている津軽塗は重要無形文化財です。津軽塗という言葉は明治6年のウイーン万国博覧会に展示する際に命名されました。津軽塗には「唐塗」「なご塗」「錦塗」「紋紗塗」という塗りの技法があり、優美な塗りが特徴で、青森県を代表する伝統工芸品です。



坂本 彰彦
津軽塗伝統工芸士 塗り部門
津軽塗伝統工芸士会会長

徳島県 大谷焼

大谷焼は徳島県鳴門市大町の名産品です。大谷焼の特徴は素朴な風合いを醸し出す土と「寝ろくろ」という技法です。「寝ろくろ」とは大型商品を作る際に職人が作業台の下に寝転んでろくろを足で蹴って回す技法です。また、陶器を焼き上げる登り窯の大きさは日本一と言われています。



森 崇史
大谷焼窯元 森陶器 5代目



鷲塚 浩
一位一刀彫伝統工芸士



高原 誠治
信楽焼伝統工芸士
信楽焼伝統工芸士会会長



渡邊 隆夫
渡文株式会社 代表取締役社長



森 崇史
大谷焼窯元 森陶器 5代目